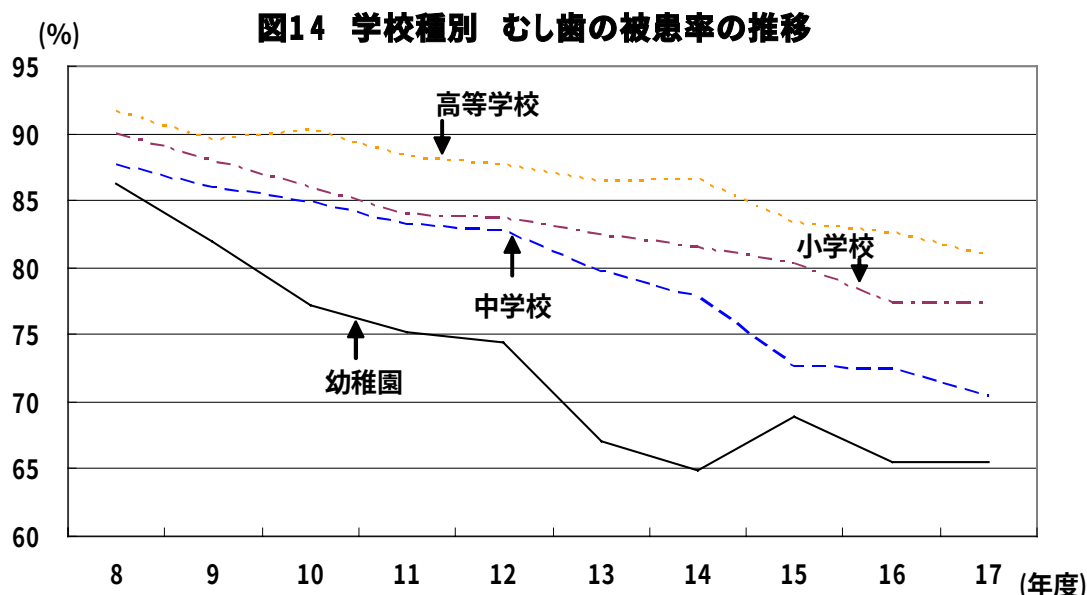


B 健康状態（主な疾病・異常等）

(2)むし歯（う歯）のある者

むし歯のある者の割合（処置完了者を含む）は、幼稚園で 65.6%、小学校で 77.4%、中学校で 70.4%、高等学校 80.9%となっており、幼稚園以外においては、前年度より減少している。

昭和 60 年度においては、幼稚園で 88.5%、小学校で 92.0%、中学校で 91.0%、高等学校で 94.8%と 9 割前後の高率であったが、おおむねこの 20 年減少傾向が続いている。



全国平均値と比較してみると、むし歯のある者の割合は、すべての学校区分において全国平均値を上回っており、12 歳の永久歯の一人当たり平均むし歯の本数も全国平均値を上回っている。

表11 全国平均値との比較（むし歯）

(単位: %、本)

区 分	福井県				全国			
	むし歯 (う歯)	うち処置完了の者	うち未処置歯のある者	12歳 の永久歯 の一人当 たりの本 数	むし歯 (う歯)	うち処置完了の者	うち未処置歯のある者	12歳 の永久歯 の一人当 たりの本 数
幼稚園	65.6	26.0	39.6	...	54.4	21.3	33.1	...
小学校	77.4	34.9	42.5	...	68.2	32.8	35.4	...
中学校	70.4	37.1	33.3	2.4	62.7	34.7	28.0	1.8
高等学校	80.9	46.7	34.2	...	72.8	42.5	30.2	...